



平成 26 年 10 月 31 日

各 位

上場会社名 三菱化工機株式会社
代表者 取締役社長 山中 菊雄
(コード番号 6331)
問合せ先責任者 経理部長 齋藤 雅彦
(TEL 044-333-5354)

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績について、平成 26 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想と差異が生じたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想との差異について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,000	△130	△130	△150	△1.90
実績値 (B)	13,449	166	291	201	2.54
増減額 (B - A)	△551	296	421	351	
増減率 (%)	△3.9	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	17,603	△1,632	△1,624	△3,496	△44.22

差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間の業績は、既受注の大型工事の売上寄与が前期で終了したことに加え、当第 2 四半期連結累計期間の受注の伸び悩みを反映し、売上高は、当初予想を下回りました。損益面におきましては、売上高は減少いたしましたが、各種コスト改善及び固定費の削減に取り組みました結果、当初の赤字予想から黒字に転換いたしました。

今後のわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続くことが期待されますが、民間設備投資には一部に回復の兆しがみられる一方で個人消費回復の動きは鈍く、さらには円安傾向に伴う燃料及び原材料の輸入コストの上昇等の懸念要因もあり、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

上記の経済動向を鑑み、通期の業績予想につきましては、平成 26 年 5 月 15 日に公表した予想値から変更いたしません。

以上